

序章

高次脳機能障害者に対する支援プログラムの概要

序章 高次脳機能障害者に対する支援プログラムの概要

障害者職業総合センター職業センター（以下「職業センター」という。）では、高次脳機能障害者を対象とした支援プログラム（以下「支援プログラム」という。）を利用者の雇用の段階に応じた内容で実施しています。

1 受講期間と支援の流れ

求職者には13週間、在職者・休職者には16週間のプログラムを提供し、①基礎評価期、②集中支援期、③実践トレーニング期または職場適応支援期の3期に分けてアプローチを行っています。

基礎評価期では、作業遂行上の課題や特性を把握するためのアセスメントを実施します。

集中支援期では、働く上で必要とされる作業遂行力の向上を図るとともに、基礎評価期で明らかになった課題に対する補完手段の検討や試行を行います。在職者・休職者に対しては、企業や支援者を交えた連絡会議を実施し、支援プログラムでの取組状況を共有します。

実践トレーニング期・職場適応支援期では、本人が補完手段を主体的に活用し、より自立的な作業遂行を目指せるよう支援します。求職者に対しては、支援者および管轄ハローワークの担当者と就職準備連絡会議を実施し、これまでの取組や職場における配慮事項、今後の就職活動の進め方、活用できる支援について共有を図ります。在職者・休職者に対しては、企業や支援者を交えたフォローアップ連絡会議を実施し、職場における配慮事項や職場定着に向けた支援を含めた今後の方針について共有します。

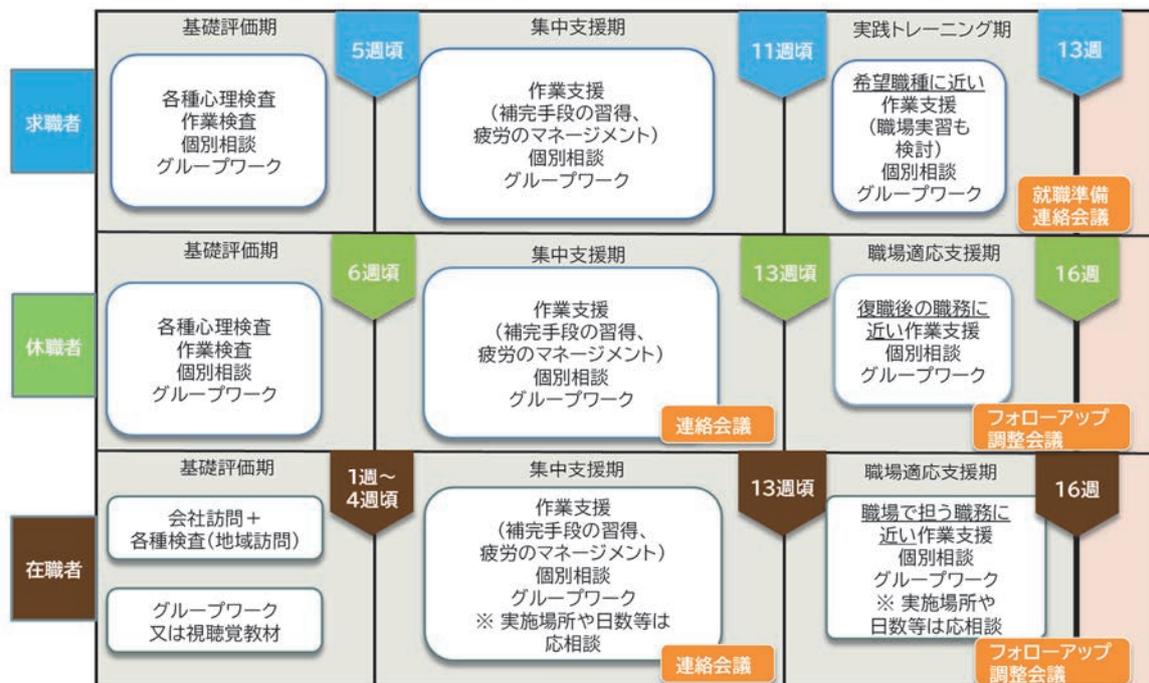


図1 支援プログラムの受講期間・支援内容の概要

2 支援内容

支援プログラムは、「作業支援」「グループワーク」「個別相談」から構成されており、各場面を関連付けながら支援を行っています。

「作業支援」では、ワークサンプル幕張版（MWS）等の実施を通じて、障害の現れ方や課題の把握、作業を円滑に進めるための補完方法の検討・習得、適切な疲労管理の習得を目指します。なお、MWS は当機構で開発した職場適応促進のためのトータルパッケージのツールの一つで、OA 作業、事務作業および実務作業の 3 種、16 課題で構成されています。

「グループワーク」では、注意の学習カリキュラム、記憶の学習カリキュラム、感情コントロール、アシスティブテクノロジー、キャリアなどのテーマに沿って、障害に対する基礎的知識を得る講義や演習、参加者間の意見交換等を実施します。

「個別相談」では、作業支援やグループワークでの体験をもとに、自身の障害特性や有効な補完手段について振り返り、今後の就労に活かすための気づきを整理することを目的としています。